



保育所 こどもの家



昼夜の寒暖差も徐々に大きくなり、服装の調整が難しい季節です。お天気の変化を見ながら、子どもたちが元気いっぱい過ごせるよう配慮していきたいと考えています。

～冬に多い感染症～

・インフルエンザ ・ウイルス性胃腸炎(ノロウイルス、ロタウイルス)・RS ウィルス感染症・溶連菌感染症

※人への感染力が強い感染症です。症状が見られたら、必ず受診をお願いします。

一回目は11月末までに澄ませておきましょう。

生後6ヶ月～12歳までの間は、2回の接種が標準となっております。

本格的に流行が始まる1月までに十分免疫を上げておくには遅くとも11月末までに最初の接種を済ませておくことが理想となります。

おしらせ

8日 お誕生日会
(10月生まれ)
9日 身体測定
16日 内科検診



保護者の方へ

・厚着になりがちな季節となりますが、子どもは大人より一枚少なめを心がけましょう。長袖と半袖の重ね着での調整しやすい服装がおすすめです。室内は暖房が入りますので厚着をさせると汗をかき、風邪の原因ともなりますので注意しましょう。

・登園バックの着替えの入れ替えもお願いします。

※下着の補充をされてない方がいらっしゃいますので必ず補充をされて下さい。

・スモック、上着はお外遊びの際に必要な場合がございますので着せるか、カバンに入れるかのどちらかをお願いします。

・水筒の中のお茶は温かい飲み物ではなく今まで通り冷たいお茶をお願いします。

～薄着で丈夫な体～

薄着で過ごす、皮膚に外気が触れ、寒さを知ることで適応能力を高め、体に備わっている調節機能も高くなっています。風邪をひきにくい、丈夫な体作りができます。下着は冬でも半袖にし、上着で調節しましょう。厚手の服を一枚着るより薄い服を二枚着るほうが空気の層ができ温くなります。

※綿の肌シャツは10あげる保温効果があります。

朝夕、子どもの体調チェック

小さい子どもたちは、体調不良を自ら訴えることが出来ません。親は「いつもと違う様子」に気付くことが大切です。

機嫌、顔色、食欲、便の状態、咳や鼻水、熱っぽさなどの様子に注意しましょう。

